
出張報告書

報告者氏名 : 北原 健太
学会名 : OptoElectronics and Communications Conference 2018
場所 : ICC JEJU(韓国)
日程 : 2018/7/3~2018/7/6
発表ポスタータイトル : Transmittance Modeling of Long-Period Fiber Gratings
Based on the Photo-Elastic Effect
著者 : 北原 健太 堤 康宏 長谷 隆弘 大橋 正治 久保田 寛和 三好 悠司

2018年7月3日から7月6日の4日間、韓国の済州島で開催された OptoElectronics and Communications Conference 2018 という光通信学会の国際会議に参加しました。発表者は300名以上でした。研究成果の発表ために海外出張し、ポスター発表をしてきました。

今回の国際会議に参加して感じたことが2つあります。1つ目は自分の研究における視野の狭さです。私は、光ファイバセンサに関する研究を行っているのですが、このセンサの作製方法として、グレーティングを用いたものしか見えていなかったのですが、学会に出て光の干渉を使用したものなどそれ以外の光ファイバセンサも多く知ることができました。こういった点で、自分の視野、知見がとても広がり大変勉強になりました。2つ目は英語の必要性です。私は、学会で1時間ポスターの発表をさせていただいたのですが、その間様々な国の方々とコミュニケーションをとる必要がありました。しかし、まず相手の英語が聞き取れない、また言いたいことを英語でうまく表現できないというもどかしい場面が多々ありました。その経験から、時間をかけてもよい英文の読み書きだけでなく、瞬発力を要する英語でのコミュニケーションの訓練も必要ではないかと感じた。

謝辞

今回の学会参加に向けて指導及び学会に引率していただいた先生方、および学会の参加にあたって補助を受けましたことを感謝いたします。